

平成31年度白河第二中学校経営・運営ビジョン

白河市教育大綱

- 1 郷土を知り、郷土を愛する人づくり
 - 2 幅広い文化・芸術に親しむ人づくり
 - 3 自ら学び、自ら高める人づくり
 - 4 自ら判断し、自ら行動する人づくり
 - 5 礼儀正しく、思いやりの心を持った人づくり
 - 6 自然を敬い、自然を大切に人づくり
 - 7 健やかな体を育む人づくり
 - 8 世界にはばたく高い志を持つ人づくり
- 特別支援教育の充実

知 性

確かな学力を身に付けさせます

- 1 基礎基本を確実に身につけるために50分の授業時間と時数を確保する
- 2 教科部会を定例化し、共通理解と実践の土台とする
- 3 「ARCSモデル」アンケート結果を踏まえて指導の改善点を把握する
- 4 「授業スタンダード」をふまえて思考力・判断力・表現力を育成する
- 5 「学習の手引き」を元に基本的学習訓練をする
- 6 家庭の理解・協力をふまえた家庭学習の充実を図る
- 7 個に状況に応じた学習の機会の確保と充実

〔達成目標〕

- 授業がわかりやすいと感じる生徒の割合
H30 62% → 90%
- 家庭学習を2時間以上実施する生徒の割合
H30 30% → 60%
- 市学力テストで全国平均正答率を上回る教科
H30 5/15 → 12/15
- 研究授業を1人1回実施する
H30 全員実施 → 全員実施

教 育 目 標

- 知性 生きた学力を身につけ、正しく判断し行動する生徒
- 敬愛 強い意志と豊かな心情を持ち、みんなのために尽くす生徒
- 健康 心身ともに健康で明朗な生徒

本校スローガンーやらねば何もかわらないー

敬 愛

豊かな人間性を育てます

- 1 「生命尊重」「おもいやり」の価値を重点とした道徳教育を行う
- 2 いじめののない人間関係づくりのために、いじめを考え合うことを重視する
- 3 学校図書館司書と連携した計画的図書館運営をする
- 4 支援が必要な生徒への人的支援体制・個別の学習環境を工夫する
- 5 QUテスト等を活用した生徒理解をもとに指導を工夫する
- 6 地域との連携したキャリア教育や体験的学習を実施する

〔達成目標〕

- 読書に関する調査で1冊以上読書する生徒
H30 79% → 80%
- 「学校が楽しい」と感じる生徒の割合
H30 92% → 95%
- あいさつ、返事ができる生徒の割合
H30 81% → 90%
- 生徒に積極的に関わってくれる先生の割合
H30 57% → 100%

〔学校の情報伝達達成目標〕

- 学校学年情報の定期的な提供
H30 85% → 95%

国・県・市の動向、本校の課題

- 新学習指導要領への移行
- がんばる学校応援プラン
- 教職員多忙化解消アクションプラン
- 白河市学校教育プラン
- 白河市いじめ条例制定
- 保護者と学校が同じ目線で生徒を見取ること
- 学校文化の円滑な継承

健 康

明朗で心身ともに健康な生徒を育てます

- 1 教育相談を随時実施し、生徒の心情理解に努める
- 2 体力テストの分析をもとに課題の焦点化と重点的な体力づくりをする
- 3 健全な男女交際および性に関する指導を充実する
- 4 スマホ・ケイタイに関する情報モラル教育・メディアコントロールを推進する
- 5 自己の健康課題を理解させるとともに心身の健康の保持増進の習慣化を図る
- 6 保護者・地域と連携した交通ルールの遵守の指導をする
- 7 部活動を通して個性の伸長と自主性を育成する

〔達成目標〕

- 交通ルールを守って登下校できる生徒の割合
H30 98% → 100%
- 体力テストのAB評価がDE評価を上回る（生徒）
H30 4% → 10%
- 朝食摂取率の維持・向上（生徒）
H30 99% → 100%
- う歯治療率の向上を目指（生徒）
H30 57% → 80%

〔時間外勤務時間の達成目標〕

- 常勤者の月平均55時間以下
H30 61時間 → 55時間